

市民と議会の懇談会

今まで開催してきました「議会報告会」の反省を踏まえ、今年度は常任委員会が主体となって関係団体を決定し、談会をもっとしてほしい」といった声をいただきました。閉会中の調査で取り入れた委員会もあり、今後の委員会市民の声が政策提案につながるよう、委員会が主体になって仕組み作りを研究していきます。ご参加の皆様、あり

総務常任委員会

●懇談会での意見（まとめ）

- ・若者が長く住めるまちづくりを目指すためにも情報交換を密にしていく必要がある。
- ・石部は、商店が多くあったため、空き家が多く、これを利用してNCLの活動がしやすい環境にある。
- ・農地を借りて、野菜作りに励んでいるが、規模には問題があり、今後の課題である。
- ・地元の野菜や果樹生産業者の方々と組んで事業を展開していきたい。

今後委員会で取り組むべき課題

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの外国人労働者が解雇、雇い止めにあっている。派遣会社がキャッサバの栽培をしており、数人の外国人労働者を雇用されているとのこと。空き農地を利用して、キャッサバの栽培を拡大し、外国人労働者の雇用を生み出す仕組みができればと考える。
- ・NCLのメンバーが卒業後も定住しやすい環境を整えていくべきである。

福祉教育常任委員会

懇談会対象団体 スポーツ協会

懇談会実施日時 令和2年8月27日 19時00分～20時15分



今後委員会で取り組むべき課題

- ・現場を見て、現場の声を聞いて現状を知っていく。
- ・このような懇談を続けて、テーマを絞って議論をしていきたい。
- ・地区対抗の参加者が減少。自治体や地域の方が、スポーツ行事等の参加を促すような橋渡しをしていきたい。

産業経済常任委員会

●懇談会での意見（まとめ）

- ・どの団体も後継者不足、収益悪化問題に悩んでいる。
- ・米需要の衰退、販売価格の低下、収量を上げてても利益が出ない、農地を守るためだけに赤字覚悟で農業を続けている。
- ・果樹・野菜等への転作の努力はしているが、土壌問題・獣害問題・人手不足等でなかなか採算ベースに乗せられない。
- ・このままでは、「農地の森林化（耕作放棄）もやむなし」「5年後～10年後にはやり手が無くなる」などの心配や覚悟で農業を続けている。
- ・このような意見聴取はありがたいが、成果等をフィードバックしていただきたい。

今後委員会で取り組むべき課題

皆様の努力が報われる、利益の出る、生産の喜びを味わうことのできる農業への抜本改革が急務であると思われる。